

「時を超え」制作日記

内海由美子

2012年に1枚目のCD「朝は訪れる」をリリースしてから、7年。2枚目の「時を超え」が完成しました。「時を超え」に込めた思いを書いてみたいと思います。

正直なところ、私は2枚目のCDを作ることになるとは全く思っていませんでした。「朝は訪れる」を気に入って聞いて下さっている方から、「二枚目はないんですか？」と聞かれることもありましたが、本気で「ないですね～」とお答えしておりました。その私がなぜ2枚目のCDを製作したのか…振り返ってみると、神さまが私の背中を押して下さったとは思えません。

昨年(2018年)の秋、辻さんとの雑談の中で突然「CD作ろう！」ということになり、急展開で話が進みました。クリスマスには選曲もおわり、5月にレコーディングしようとなった時、ワクワクする反面、「ちゃんと歌えるかしら…」という不安な気持ちになったことを覚えています。

1枚目を喜んで下さっている方が多かったので、その期待に応えられるだろうかというプレッシャーだったと思います。でも、年明けから二人で準備を始めるうちに、その不安もなくなり、ワクワク感が増してきて、自分の中では(何とかいけるかな)と感じていました。



5月中旬、ピアノ伴奏の収録直前、風邪をひいてしまいました。録音は正直だし、どうしよう…と思いましたが、何とか治り、当日は今までうまくいかなかった箇所までスムーズに歌えるという、まさに守られたとしか言えない状況でした。収録直前、二人で祈りましたが、その時辻さんが「私の声を守られますように」と祈ってくれたことで力づけられたことを覚えています。

続けて行かう予定だったオルガン伴奏収録が、ご葬儀が入って2週間のびました。録音してくださるコウベレックスの皆様も快く延期してくださり、私たちもピアノ伴奏から、オルガン伴奏へと気持ちを切り替える時間を与えられたように思います。



6月初旬に迎えたオルガン伴奏収録は体調もよく、無事終わりました。その1週間後に突然父が天に召されました。本当に急なことで驚きましたが、緊急洗礼を授けて頂いて、教会から天国へ見送ることができました。その時、このCDのディレクターであるコウベレックスの善沢さんが「天国のお父さんに聞かせてあげてください」と編集したばかりの「日暮れて闇深まり」を送ってくださいました。改めてこの聖歌の歌詞の深さに気づかされました。

コンサートと違って、CD製作は収録後にさまざまな作業があります。どのテイクを使うかを決めたり、実際に並べて聞いてみて曲順を変更したり、ブックレットをどうするかなど。今回、その作業をする中にも神さまはずっといて下さったと感じます。

そしていよいよ9月中旬、手元にCDが届きました。もちろんそれまで何度も聴いていましたが、出来上がったCDを前にして、私は最初に感じたプレッシャーがよみがえりました。皆さん、気に入ってくださるだろうか…。評価を気にしている自分に気づかされました。自信など全くないですが、神さまが備えて下さった道、神さまが喜んでくださることだけを祈り求めて歩んでいきたいと改めて思った瞬間でもありました。

本当に有り難いことに、聞いて下さった方から嬉しいお言葉を頂きます。その度に私たちは心からの感謝でいっぱいになります。そして、すべての道を備えて下さった主に感謝です。

(2019年9月)